

Subject : **Japanese**

Production of Courseware
e- Content for Post Graduate Courses



Paper No. **02** : 日本語学 (Japanese Linguistics)

Module **02** : 母音と子音 (Vowels and Consonants)



Development Team

Principal Investigator:

Prof. Anita Khanna

Jawaharlal Nehru University, New Delhi

Paper Coordinator:

Prof. Prashant Pardeshi

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Writer:

Dr. Yasunari Imamura

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Reviewer:

Prof. Emerita Yuriko Sunakawa


University of Tsukuba

Japanese

Japanese Linguistics

母音と子音 (Vowels and Consonants)

Description of Module	
Subject Name	Japanese
Paper Name	日本語学 (Japanese Linguistics)
Module Title	母音と子音 (Vowels and Consonants)
Module ID	JPN-P02-M02
Quadrant 1	E-Text

 **Pathshala**
पाठशाला
A Gateway to All Post Graduate Courses

Japanese

Japanese Linguistics

母音と子音 (Vowels and Consonants)

ぼいん しいん
母音と子音

もくてき おんせい で し く けんきゅう ちょうおんおんせいがかく
目的：このモジュールでは、音声の出る仕組みを研究する調音音声学（articulatory phonetics）の観点から日本語で使われる母音と子音について解説する。

ぼいん しいん
1. 母音・子音とは？

げんごおん ぼいん しいん たいべつ ぼいん はい
 言語音は**母音**（vowel）と**子音**（consonant）に大別される。母音とは肺（lungs）から
 おく だ くうき こ き くち はな のど おんせいきかん ぼうがい う
 送り出された空気（呼気）が口・鼻・喉などの**音声器官**（organs of speech）で妨害を受
 けない音のことである。一方、子音は呼気が音声器官で何らかの妨害を受ける音である。

ぼいん ぶんるいきじゅん
2. 母音の分類基準

ぼいん くちびる かたち くちびる まる まる した いち した まえよ
 母音には、①唇の形（唇を丸めるか丸めないか）、②舌の位置（舌が前寄りか
 うし よ した も あ ぶぶん くち ひら くち ひら ひろ せま
 後ろ寄りか、舌が盛り上がる部分）、③口の開き（口の開きが広いか狭いか）という 3
 きじゅん ちが しゅるい ぼいん
 つの基準があり、これらの違いによってさまざまな種類の母音がつけられる。

3. 日本語の母音

日本語の母音は「ア、イ、ウ、エ、オ」の5つである。上記の基準に照らすと、以下のように表すことができる。

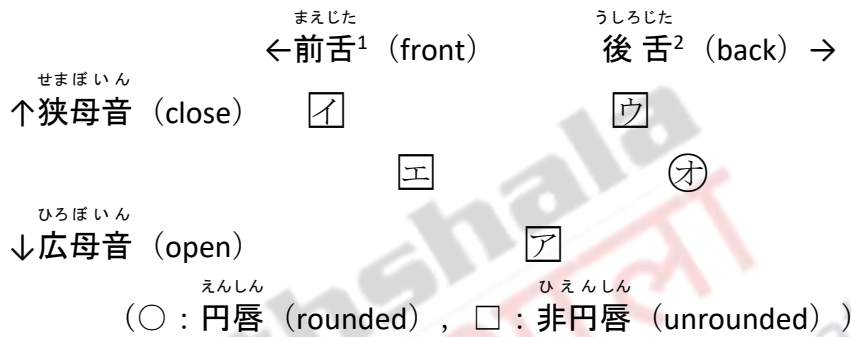


図1 日本語の母音

日本語の母音の特徴は口をあまり開かず、力を抜いて発音することである。「イ」は口を横に引きすぎないように、「ウ」は唇を突き出したり丸めすぎないように注意する（このため、「ウ」の音声記号は円唇の [u] ではなく非円唇の [ɯ] で表される）。

日本語では短い母音（短母音）と長い母音（長母音）を区別する。ヒンディー語話者は母語の影響で「エ」と「オ」が長くなる傾向があるため、「お客さん」の発音が「O脚（bow-legs）さん」のようになってしまうことがある。また、ベンガル語

1 「ぜんぜつ」という読み方もある。

2 「あとじた」「こうぜつ」という読み方もある。

わしゃ ばあい ぼ ごと たんぽいん ちょうぼいん くべつ
 話者の場合、母語に短母音と長母音の区別がないので、「おばさん」と「おばあさん」、
 くべつ もんだい
 「おじさん」と「おじいさん」の区別などが問題になる。

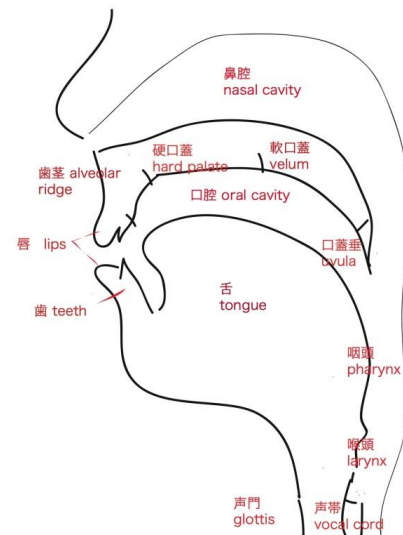
しいん ぶんにいきじゅん
4. 子音の分類基準

しいん はい おく だ くうき こき くち はな のど おんせいきかん なん
 子音は肺から送り出された空気（呼気）が口・鼻・喉などの音声器官で何らかの
 ぼうがい う おと ぼうがい つく ぼしょ ちょうおんてん ちょうおん いち
 妨害を受ける音のことである。その妨害を作る場所のことを調音点（調音位置，
 ぼうがい しゅるい ちょうおんほう ちょうおんようしき
 point (place) of articulation），妨害の種類を調音法（調音様式，manner of articulation）
 い はつおん とき せいたい しんどう おと ゆうせいおん しんどう
 と言う。また、発音する時に声帯（vocal code）が振動する音を有声音（voiced），振動
 おと むせいおん よ くべつ いじょう しいん ゆうせい
 しない音を無声音（voiceless）と呼んで区別する。以上をまとめると子音には、①有声
 むせい ちょうおんてん ちょうおんほう きじゅん
 /無声，②調音点，③調音法の3つの基準がある。

ちょうおんてん ちょうおんほう
5. 調音点と調音法

だいひょうてき ちょうおんてん
代表的な調音点は、

- (1) くちびる 唇 (lips)
- (2) は 歯 (teeth)
- (3) しけい 歯茎 (alveolar ridge)
- (4) こうこうがい 硬口蓋 (hard palate)
- (5) なんこうがい 軟口蓋 (velum, soft palate)
- (6) こうがいすい 口蓋垂 (uvula)
- (7) いんとう 咽頭 (pharynx)
- (8) せいもん 声門 (glottis)



ず おんせいきかん こうこうだんめん ず
図 2 音声器官 (口腔断面図) ³

しけい こうこうがい すこ わ しけい うし がわ ぶぶん こうぶ
である。歯茎から硬口蓋は、もう少し分けることができ、歯茎の後ろ側の部分を後部

しけい こうこうがい まえがわ ぶぶん しけいこうこうがい い
歯茎、硬口蓋の前側の部分を歯茎硬口蓋と言う。

³ http://culture.cc.hirosaki-u.ac.jp/english/utsumi/info/moji_c1_ja.html

ちょうおんほう
調音法には,

- (1) 破裂音 (plosive) : 舌で呼気を一度完全にふさいで作る音
はれつおん した こ き いちどかんぜん つく おと
- (2) 鼻音 (nasal) : 舌で呼気を一度完全にふさいだ後, 鼻腔に通して作る音
びおん した こ き いちどかんぜん あと びこう とお つく おと
- (3) 震え音 (trill) : 瞬間的な閉鎖を数回繰り返して作る音
ふる おん しゅんかんてき へいさ すうかいく かえ つく おと
- (4) 弾き音 (flap) : 舌先で歯茎を一度弾いて作る音
はじ おん したさき しけい いちどはじ つく おと
- (5) 摩擦音 (fricative) : 音声器官に狭い隙間を作って出す音
まさつおん おんせいきかん せま すきま つく だ おと
- (6) 接近音 (approximant) : 音声器官に軽い狭めを作るが, 摩擦音ほど狭くない音
せつきんおん おんせいきかん かる せば つく まさつおん せま おと
- (7) 破擦音 (affricate) : 破裂音の直後に摩擦音を作って続ける音
はさつおん はれつおん ちよくご まさつおん つく つづ おと

などがある。

6. 日本語の子音

日本語で使われる子音は次のようにまとめられる。

表 1 日本語の子音表

		両唇	歯茎	歯茎硬口蓋	硬口蓋	軟口蓋	口蓋垂	声門
破裂音	無声	p	t			k		
	有声	b	d			g		
鼻音	有声	m	n			ŋ	N	
弾き音	有声		r					
摩擦音	無声	φ	s	ç	ç			h
	有声		z	z				
接近音	有声	w			j	w		
破擦音	無声		ts	tç				
	有声		dz	dç				

表中の音声記号について補足する。

[ŋ] 有声軟口蓋鼻音：ガ行鼻濁音と呼ばれ、語中の [g] が [ŋ] で発音されることがある。

[N] 有声口蓋垂鼻音：「にほん」「わかりません」のように語末／文末の「ン」の音

[r] 有声歯茎弾き音：ラ行の子音（※ [r] は瞬間的な閉鎖を数回繰り返して作る震え音の記号）

- むせいりょうしんまさつおん しいん
 [ɸ] 無声両唇摩擦音：「フ」の子音
- むせいしけいこうこうがいまさつおん しいん
 [ç] 無声齒茎硬口蓋摩擦音：「シ, シャ, シュ, ショ」の子音
- ゆうせいしけいこうこうがいまさつおん しいん ごちゅう ときどき
 [ʒ] 有声齒茎硬口蓋摩擦音：「ジ, ジャ, ジュ, ジョ」の子音（語中で時々）
- むせいこうこうがいまさつおん しいん
 [ç̥] 無声硬口蓋摩擦音：「ヒ, ヒャ, ヒュ, ヒョ」の子音
- ゆうせいりょうしんなんこうがいせつきんおん しいん りょうしん なんこうがい しょ ちょうおんてん
 [w] 有声両唇軟口蓋接近音：「ワ」の子音（両唇と軟口蓋の2か所が調音点）
- ゆうせいこうこうがいせつきんおん しいん
 [j] 有声硬口蓋接近音：「ヤ, ユ, ヨ」の子音
- むせいしけいはさつおん しいん
 [ts̥] 無声齒茎破擦音：「ツ」の子音
- ゆうせいしけいはさつおん しいん
 [dʒ] 有声齒茎破擦音：「ザ, ズ, ゼ, ゾ」の子音
- むせいしけいこうこうがいはさつおん しいん
 [tʃ̥] 無声齒茎硬口蓋破擦音：「チ, チャ, チュ, チョ」の子音
- ゆうせいしけいこうこうがいはさつおん しいん
 [dʒ̥] 有声齒茎硬口蓋破擦音：「ジ, ジャ, ジュ, ジョ」の子音
- うえ しめ しいん なまえ しいん ぶるいきじゅん ゆうせい むせい ちょうおんてん
 上に示したように、子音の名前は子音の分類基準である「有声／無声」「調音点」
- ちょうおんほう い
 「調音法」をつなげて言う。

ゆうきおん むきおん

7. 有気音と無気音

ヒンディー語やベンガル語には [ka] と [kʰa], [ta] と [tʰa] のように、発音する時に強

い呼気を伴う音（有気音, aspirated）と伴わない音（無気音, unaspirated）の区別が

ある。これは文字の違いや意味の違いにも関わっている（例：ヒンディー語の सात

[sa:t] 「7」と साथ [sa:tʰ] 「一緒に」）。一方、日本語には有気音と無気音の区別はない。

ぼいん むせいか

8. 母音の無声化

母音はもともと声帯振動を伴う有声音であるが、ある環境で声帯振動がなくなる

ことがある。これを母音の無声化（vowel devoicing）と言う（次の例で母音の下について

いる記号「。」は母音の無声化を表す）。

- (1) くすり（薬） [kʌsʌwɾi]
- (2) つくえ（机） [tsʌkʌwe]
- (3) ひとり（人） [çɪtori]
- (4) がくせい（学生） [gakʌse:]
- (5) しっぱい（失敗） [çippai]

うえ れい せまぼいん むせいしいん ぎょう ぎょう ぎょう ぎょう
 上の例のように、狭母音の [i] と [ɯ] は無声子音（カ行，サ行，タ行，ハ行，パ

ぎょう しいん はさ とき せいたいしんどう ともな はつおん
 行の子音）に挟まれた時，声帯振動を伴わずに発音される。また，「アショークです」

もう ぶんまつ むせいか
 「ナミターと申します」のように文末の「です」 [desɯ] や「ます」 [masɯ] も無声化し

はつおん むせいか ちいきさ こじんさ
 て発音される（ただし，無声化するかしないかは地域差や個人差がある）。

キーワード：

ぼいん しいん おんせいきかん えんしん ひえんしん まえじた うしろじた せまぼいん ひろぼいん せいたい ゆうせいおん
 母音 子音 音声器官 円唇 非円唇 前舌 後舌 狭母音 広母音 声帯 有声音

むせいおん ちょうおんてん ちょうおんほう ゆうきおん むきおん ぼいん むせいか
 無声音 調音点 調音法 有気音 無気音 母音の無声化
